

フ リ ー だ ん

**自 由 壇**

で ま つ る。

ス マ ー ト に

し っ か り と。



フ リ ー だ ん  
**自 由 壇**  
で ま つ る。  
ス マ ー ト に  
し っ か り と。

井伊家三十五万石の城下町として栄えた彦根。  
伝統的な祈りのかたちに高度な技と品質で応えてきた  
金仏壇の産地としても知られています。

思いのまましっかりとまつり、こころ豊かに暮らす。  
現代の生活の中でかたちは変わっても、  
神聖な祈りの気持ちに彦根は応え続けます。

自由壇は、今日の自由な祈りに応える  
彦根のハイセンスな工芸品です。



新しい祈りのかたち

「祈る」という行為は太古から変わらない神聖な人の営みのひとつです。手を合わせて静かに祈る時間は心に安らぎを育み、未来に向かう活力を生み出してくれます。時代とともに祈りのかたちが変わっても祈りに込める気持ちと時間は変わりません。

仏壇が果たしてきた役割も、御本尊やご先祖様を祀るという形式的なことではなく、生活の中に祈りの時間を取り入れ、家族や自分自身、そして生活を見つめ直す時間をつくることだと私たちは考えています。



## 彦根の伝統がつくる



大切な祈りの時間を受け止めるために、自由壇は妥協のないものづくりを目指しています。熟練の職人が時間を注ぎ込み、手作りで丁寧につくったものには、ある種の気迫が備わるように感じます。

自由壇は350年に渡って、日本を代表する金仏壇の産地として高く評価され続けてきた彦根で作っています。

『彦根仏壇350年のものづくり』 ➡ p.24

フ リ ー ダ ン  
自由壇の磁石配置システム



「黒戸」や「湖望」、「ほとり」などの一部の自由壇と位牌「かこい」はマグネットで配置する共通の磁石付き札板を採用しています。商品によって2〜4枚まで重ねられ、複数の札板を任意に配置できます。

札板には、戒名はもちろん「南無阿弥陀佛」等と彫って御本尊としてもお祀りいただけます。

『札板』について ➡ p.20

フリーだん  
自由壇は伝統的な形式から、位牌壇や手元供養など、いろいろなかたちで現代の生活の中に祈りの時間を設けるお手伝いができます。

ご自身にあった自由なかたちで祈りの時間をお過ごしください。きっと心安らかに暮らすきっかけに  
していただけると信じております。

思いのまま自由に祀る。自由壇はナナプラスが提案する新しい祈りのかたちです。

# フリーだん 自由壇の種類

自由壇は自由にお祀りしていただけること、彦根の工芸品であること、そして現代の生活の中に取り入れやすいスタイルであることをコンセプトに、木調から塗りまでさまざまなスタイルをご用意しています。

自由壇に似合う仏具や写真立てなどもご用意しておりますので、お好みやご自身のお祈りのかたちに合わせてお選びください。



自由壇  
黒戸  
➡ p.06



自由壇  
赤備え  
➡ p.08



自由壇  
黒備え  
➡ p.09



自由壇  
瞑想  
➡ p.10



自由壇  
stream  
➡ p.11



自由壇  
IDOKORO  
➡ p.12



自由壇  
湖望  
➡ p.13



自由壇  
COMFORT  
➡ p.14



自由壇  
かこい壇  
➡ p.15



自由壇  
ひとり 赤  
➡ p.16



自由壇  
ひとり 黒  
➡ p.16



自由壇  
ひとり 伝  
➡ p.17



ガラス位牌  
kasanei 黒  
➡ p.18



ガラス位牌  
kasanei 白  
➡ p.18



ガラス位牌  
kasanei 紫  
➡ p.18



ガラス位牌  
kasanei 赤  
➡ p.18



ガラス位牌  
kasanei 緑  
➡ p.18



ガラス骨壺位牌  
しずく 赤  
➡ p.18



ガラス骨壺位牌  
しずく 紫  
➡ p.18



ガラス骨壺位牌  
しずく 黒  
➡ p.18



位牌  
mica 丸型 ピンク  
➡ p.19



位牌  
mica 丸型 オレンジ  
➡ p.19



位牌  
mica 丸型 ブルー  
➡ p.19



位牌  
mica 角型 ピンク  
➡ p.19



位牌  
mica 角型 オレンジ  
➡ p.19



位牌  
mica 角型 ブルー  
➡ p.19



箱型位牌  
かこい ウォルナット  
➡ p.20



箱型位牌  
かこい ケヤキ  
➡ p.20



箱型位牌  
かこい オーク  
➡ p.20



位牌  
札板 クロ塗  
➡ p.20



位牌  
札板 ウルミ塗  
➡ p.20



位牌  
札板 ミドリ塗  
➡ p.20



位牌  
札板 金箔  
➡ p.20



位牌  
札板 白木  
➡ p.20



おりん  
清澄 金  
➡ p.21



おりん  
清澄 黒  
➡ p.21



おりん  
ひととき 金  
➡ p.21



おりん  
ひととき 黒  
➡ p.21



三具足  
すずか  
➡ p.22



三具足  
スフィア 赤  
➡ p.22



三具足  
スフィア 黒  
➡ p.22



三具足  
伊吹 黒  
➡ p.23



三具足  
伊吹 茶  
➡ p.23



写真立て  
追想 大  
➡ p.23



写真立て  
追想 小  
➡ p.23





仏具 ▶ 位牌 かこい ●p.20, 三具足 すずか ●p.22, おりん 清澄 ●p.21

## フリーだん 自由壇

## 黒戸

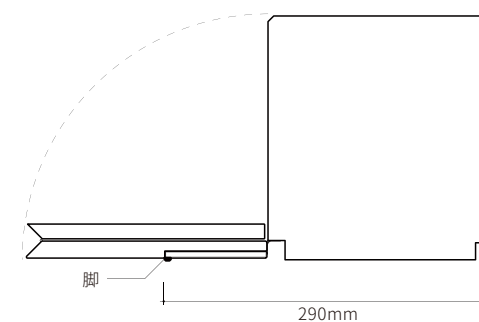
- 寸法 → W376 × H231 × D214 (開放時D410) mm / 4.6kg
- 内寸 → W225 × H180 × D180 (開放時D396) mm
- 素材 → シナ合板 (天然漆蝋色、カシュウ鏡面仕上げ、他)、ウォルナット (ウレタン塗装)、本金磨き蒔絵、ヒバ、金具、ガラス
- 備考 → 奥行き300mm以上の棚上などに設置できます。

## 気品ある深い漆黒の直方体に<sup>まつ</sup>祀る

折戸を閉じると祈りの場と感じさせないシンプルな黒塗りの箱になります。重厚な蓋を開けた内部空間は、ウォルナットの台と自由壇の磁石配置システムにより自由にお祀りできます。  
遺品や骨壺が入る小さな収納庫付き。

設置場所の推奨奥行きは400～420mm。開放時はステージが前方に出て、奥行き410mmになります。

奥から290mmの位置にステージの脚があり、奥行き300mm以上の棚上などの平面に設置できます。



折戸を持ち上げて閉じると全体を覆い、シンプルな直方体になります。

美しい鏡面加工仕上げと天然木ウォルナットの高精度な組み合わせ。

埋め込み磁石により「札板」などを自由に配置できます。 札板 ●p.20

ちりれんげ  
散り蓮華の彫刻と本金磨き蒔絵の蓋の下にある骨壺収納と写真立て。





仏具▶ 位牌 kasanei ●p.18, 三具足 スフィア ●p.22, おりん 清澄 ●p.21



仏具▶ 位牌 kasanei ●p.18, 三具足 スフィア ●p.22, おりん 清澄 ●p.21

## フリーだん 自由壇

寸法→ W310 × H315 × D287 mm / 4.3kg  
内寸→ W280 × H195 × D125~250 mm  
素材→ MDF (カシュー塗)、ヒバ (ウレタン塗装)、  
金和紙 (麻抄き込み和紙)、簾、埋込LED照明

## みす 御簾で3段階に開閉する自由壇

彦根の工芸の源流とされる彦根藩主井伊家伝統の甲冑“赤備え”をモチーフに、ナナプラスが生み出す工芸的な技と品質を盛り込んだ自由壇。吊り下げ式の御簾は3段階に調整でき、閉扉、半開、そして全開時は跳ね上げて上部に収納します。埋込みLED付き。

## フリーだん 自由壇

寸法→ W310 × H315 × D287 mm / 4.3kg  
内寸→ W280 × H195 × D125~250 mm  
素材→ MDF (カシュー塗)、ヒバ (ウレタン塗装)、  
金和紙 (麻抄き込み和紙)、簾、埋込LED照明

## みす 御簾で3段階に開閉する自由壇

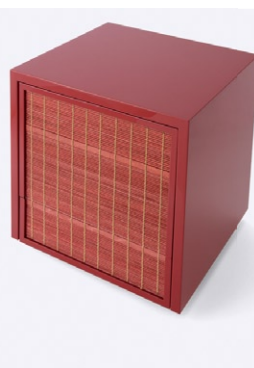
人気の朱塗りに加えて、黒塗リバージョンをご用意しました。



みすど  
御簾戸は引き出して3段階に調整できます。



ぜんびき  
御簾戸を全部開けた状態。膳引付き。



御簾戸を閉じた状態。



みすど  
御簾戸を全部開けた状態。膳引付き。



御簾戸を閉じるとシンプルな箱になります。



御簾の詳細。





仏具 ▶ 位牌 mica 丸型 ●p.19, おりん ひととき ●p.21



仏具 ▶ 位牌 kasanei ●p.18, 三具足 スフィア ●p.22

## フリーだん 自由壇

## めいそう 瞑想

## 清々しく現代的な佇まいに まつ 祀る

寸法→ W200 × H290 × D130 mm / 1.5kg  
内寸→ W160 × H238 × D110 mm  
素材→ ヒバ (天然漆蝋色塗、カシュウ 鏡面仕上げ、他)、  
MDF (天然漆蝋色塗)、銅板 (クロムメッキ)

磨き上げた天然漆と、金仏壇でも使われる銀白色に  
鍍金した銅の金具を組み合わせました。洗練した軽快な  
存在感でお祀りできる自由壇です。

## ストリーム stream

寸法→ W242 × H390 × D152 mm / 1.6kg  
内寸→ W195 × H280~350 × D50~120 mm  
素材→ ヒバ (ウレタン塗装)

## 壁にも掛けられる軽やかな自由壇

扉は細かい天然木の連子格子で、斜めの視線は通しませんが  
正面からは内部の存在を軽く感じることができます。  
薄く、壁にもかけることができる自由壇です。



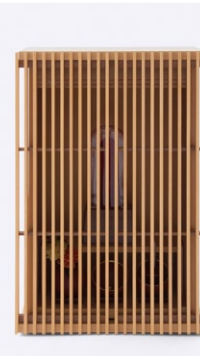
半月型でコンパクトにお祀りいただけます。



黒漆蝋色の漆とクロムメッキ仕上げの金工の組み合わせ。



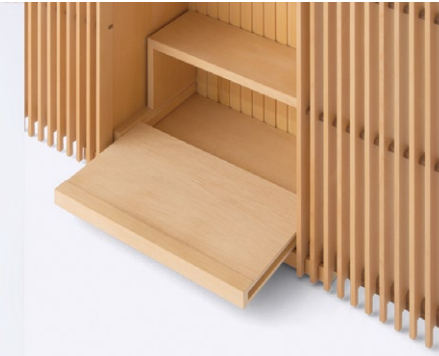
天井部は白漆蝋色仕上げ。



れんじこうし  
連子格子の扉。



よこざん  
彦根仏壇の職人による精緻な木工。横桟はケヤキ。



ぜんびき  
膳引を引き出して荘厳いただけます。





仏具 ▶ 位牌 kasanei ➡ p.18, 三具足 伊吹 ➡ p.23, おりん 清澄 ➡ p.21



仏具 ▶ 位牌 札板 ➡ p.20, 骨壺位牌 しずく ➡ p.18, 三具足 すずか ➡ p.22, おりん 清澄 ➡ p.21

## フリーだん 自由壇 IDOKORO

寸法 → W280 × H296 × D280 mm / 1.4kg  
 内寸 → W190 × H190~230 × D230 mm  
 素材 → ヒバ (ウレタン塗装)、ウォルナット (ウレタン塗装)

## いえがた 家形が生み出す温もりのある祈りの場

ウォルナットの格子を円形に囲んで祈りの場をつくる自由壇です。台は木目が緻密でまっすぐなヒバで、天然木の色のコントラストも美しい工芸品です。

## フリーだん 自由壇 湖望

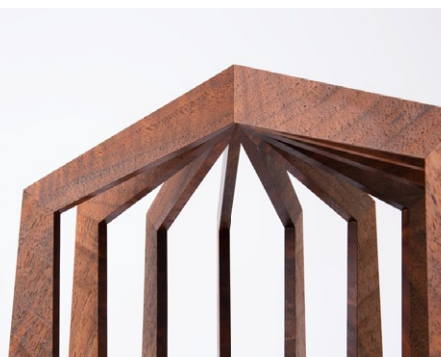
寸法 → W255 × H315 × D180 mm / 1.5kg  
 内寸 → W225 × H255 × D145 mm  
 素材 → ヒノキ (ウレタン塗装)、マホガニー (ウレタン塗装)、緑青銅板、シナ合板

## らくしょう ひのき 爽やかな緑青と桧の格子で祀る

釘を使わずに組んだ桧の四方枠を重ねて、軽やかに結果をつくりました。背板には緑青銅版をはめ込み、格子を通してまばらな光が落ちる湖面を望む窓に見立てたことから「湖望」と名付けています。



円状に囲んで祈りの場を作ります。



ウォルナットの家形が連続する格子。



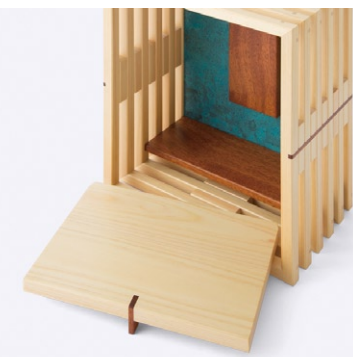
卓越した木工技術で高精度に組み立てています。



高岡の緑青銅板を使用しています。



背板のマホガニーには磁石が埋め込まれており、お位牌や夫婦位牌、御本尊などが配置できます。



細部まで丁寧に作成しています。膳引付き。





仏具 ▶ 位牌 mica 角型 ●p.19, 三具足 伊吹 ●p.23, おりん 清澄 ●p.21



仏具 ▶ 位牌 かこい ●p.20, 三具足 伊吹 ●p.23, おりん ひととき ●p.21, 写真立て 追想 ●p.23

## フリーだん 自由壇 COMFORT

寸法→ W264 × H290 × D268 mm / 2.4kg

内寸→ W220 × H220 × D249 mm

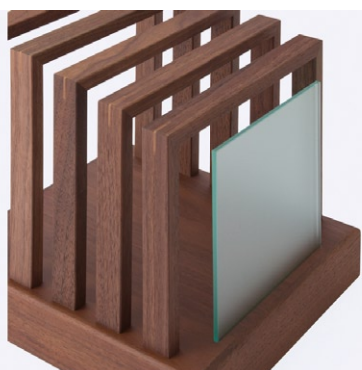
素材→ ウォルナット（ウレタン塗装）、MDF ウォルナット  
突板貼、フロストガラス

### 天然木の囲いが連なる神聖な祈りの場

ウォルナットの鳥居のような結界が、高さを変えながら奥へと連なります。背板にはガラスをはめ込み、神聖な祈りの場として、シンプルながら奥行きを生み出し、中心へと心をいざなうようにつくりました。



連続するウォルナットのフレーム。



背板はフロストガラス（曇りガラス）。



徐々に高さが変わり中心へと心をいざないます。

## フリーだん 自由壇 かこい 壇

寸法→ W254 × H11 × D254 mm / 250g

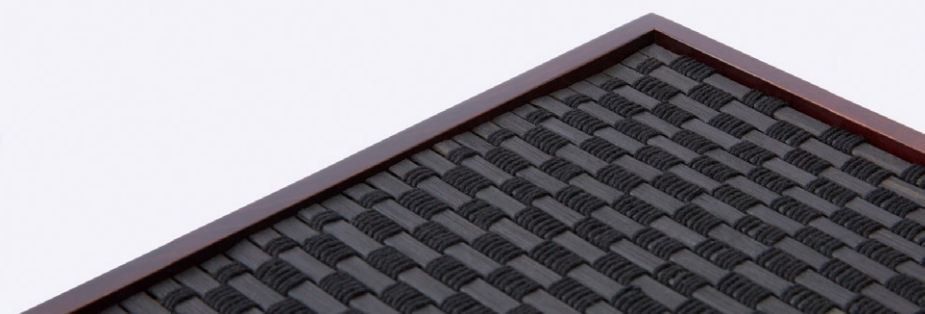
素材→ ヒノキ（ウレタン塗装）、竹（防災加工）

### スマートに荘厳するステージ

かこい、三具足、りん、フォトフレームを荘厳するステージです。市松状に編み込んだ高級感のある黒い竹を敷きました。防災加工を施していますので、線香や蠟燭の延焼を防ぎます。



手元供養に適したシンプルなステージ。



市松状の黒い竹は防災加工を施しています。





赤



黒



フリーだん  
自由壇

ひとり

故人をしっかりお祀りできる写真立て

寸法→ W140 × H245 × D126 mm / 800g

素材→ ヒバ（カシュー塗）、天然木（ウレタン塗装）、  
ガラス

備考→ 札板1枚付き。

故人をひとり (=そば) に感じていただけるように、小さな  
遺品や骨壺と共にお祀りできる写真立てです。指輪や  
時計などが入る小さな室と骨壺などを置ける小さな台を  
設けています。磁石を埋め込んでおりますので、小さな  
位牌壇としてもお祀りしていただけます。

フリーだん  
自由壇

ひとり 伝

伝統的工芸品 彦根仙壇

寸法→ W140 × H245 × D126 mm / 800g

素材→ ヒバ（黒漆蝋色塗）、ヒバ（溜塗蝋色塗）、本金磨き  
蒔絵、青貝螺鈿、銅鍍金具（いぶし銀仕上げ）、  
本金箔押し、ガラス

備考→ 札板1枚付き。近畿経済産業局長賞受賞。

伝統的工芸品 彦根仙壇として検査合格した「ひとり」  
です。木地、漆塗り、箔押し、蒔絵、鍍金具の職人たちが  
妥協のない品質で仕上げました。  
第24回全国伝統的工芸品仙壇仏具展 新デザイン部門  
にて「近畿経済産業局長賞」した彦根の逸品です。



写真入れと台はヒバ。9°傾けています。



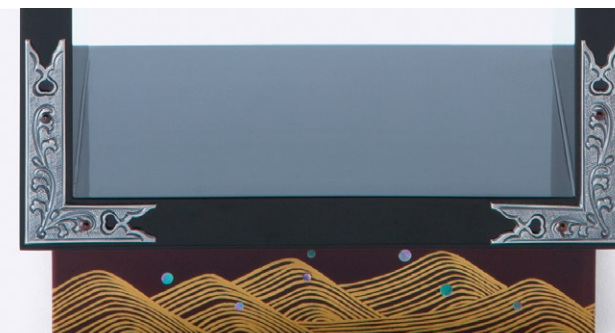
写真入れと台はウォルナット。



戒名が彫れる札板の他、写真、記念品、  
骨壺などを荘厳していただけます。



写真入れと台は天然漆溜塗蝋色仕上げ。



伝統工芸士が手がける手打ち鍍金具と螺鈿磨き蒔絵。





## ガラス位牌 <sup>か さ ね い</sup> kasanei

寸法→ W75 × H170 × D45 mm / 550g  
 素材→ ガラス、ウォルナット（ウレタン塗装）

## 魂を宿す透明なガラスの位牌

手作りのガラスでつくる新しい位牌です。重厚な吹きガラスの中心にある色ガラスの空間は、ひとつひとつ職人が吹き込んでいます。位牌は人の魂を宿すと言われますが、中心に魂が宿るような透きの表情を持つ位牌です。  
 滋賀県長浜市にある黒壁ガラススタジオとのコラボです。

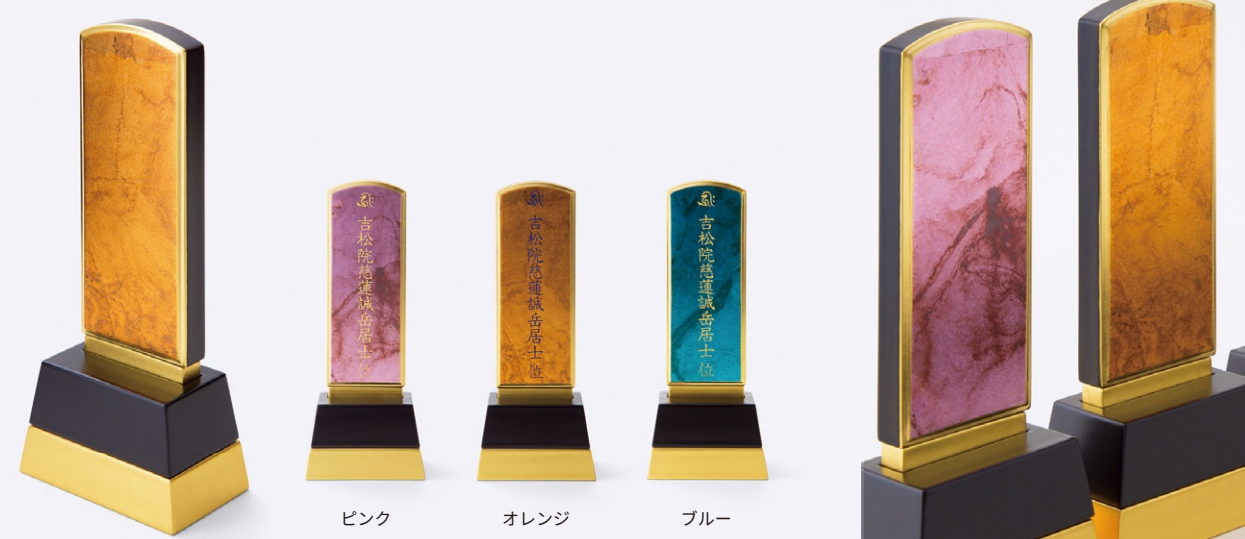


## ガラス骨壺位牌 しずく

寸法→ W55 × H90 × D50 mm / 400g  
 素材→ クリスタルガラス、漆、天然木、シリコン  
 補足→ お骨を入れる木綿製の巾着袋付き。

## 漆が浮遊するクリスタルガラス

透明度と屈折率が高く、重量感のある結晶のような輝きを持つクリスタルガラス。その内側に天然漆が浮遊する小さな骨壺位牌です。  
 お骨や思い出の品を入れてお祀りするだけでなく、そのまま単独で位牌としてもお祀りいただけます。



## 位牌 <sup>マ イ カ</sup> mica 丸型

寸法→ W65 × H170 × D40 mm / 85g  
 素材→ ヒバ（カシュー塗装）、本金箔、焼箔

## 想いを色鮮やかに写す位牌

伝統的な和装で使われる特殊な銀箔をまとった色鮮やかな位牌です。彦根の伝統技術が、扱いの難しい素材を今までにない位牌へと生まれ変わらせました。ひとつひとつ手で色付けされた銀箔はふたつとない文様を描き、きらめく質感はロウソクなどの小さな光でも凛とした存在感を生み出します。



## 位牌 <sup>マ イ カ</sup> mica 角型

寸法→ W63 × H156 × D45 mm / 70g  
 素材→ ヒバ（カシュー塗装）、本金箔、焼箔

## 想いを色鮮やかに写す位牌

伝統的な形の丸型に加えて、角型もお選びいただけます。角型は、四角い札が浮遊するスマートな形状です。





箱型位牌

## かこい

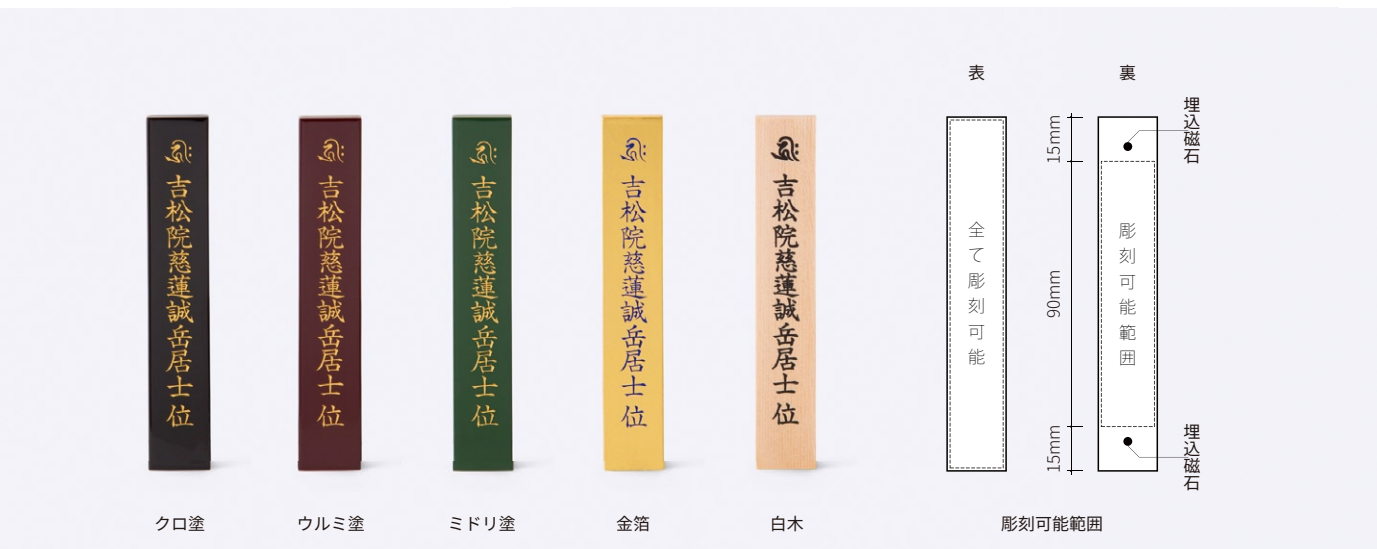
### 札板を追加できる小さな箱形位牌

寸法→ W55 × H165 × D43 mm / 100g

素材→ 天然木（ウレタン塗装）、ヒノキ（カシュー塗装）、ネオジム磁石

備考→ 札板1枚付き。札板は最大8枚まで追加できます。

天然木の箱の内に表裏に戒名を記した札板を安置するお位牌です。左右に並べて重ねて計8基の位牌まとめる回出位牌としてお使い頂けます。赴任先や入居先にも持ち込みやすい小さいサイズですが、簡略な御堂にも見立ており、単独で極小の仏壇としてもお使い頂けます。



位牌

## 札板

### 磁石で重ねてまとめられる札板

寸法→ W20 × H120 × D6 mm / 9g

素材→ 塗り：ヒノキ（カシュー塗装）、ネオジム磁石  
金箔：ヒノキ（金箔）、ネオジム磁石  
白木：ヒノキ、ネオジム磁石

備考→ 重ねられる枚数は本体により異なります。詳しくはお問合せください。

「黒戸」や「湖望」、「ほとり」などの一部の自由壇、箱型位牌「かこい」でご利用いただけるマグネットを埋め込んだ札板です。裏面にも彫刻いただけます。



おりん

## せいちよう 清澄

### 澄んだ音が響く小さいおりん

寸法→ Ø57 × H40 mm / 75g

素材→ 金：合金（金鍍金）、天然木（りんバイ）  
黒：合金（漆焼付け）、天然木（りんバイ）

清澄は小型仏壇に合わせた小さいおりんです。小ぶりながらも形状と素材にこだわり、澄んだ音色が響き渡ります。



おりん

## ひととき

### 澄んだ音が響く極小のおりん

寸法→ Ø47 × H23 mm / 60g

素材→ 金：合金（金鍍金）、天然石（りんバイ）  
黒：合金（漆焼付け）、天然石（りんバイ）

手元供養にも適した極小のおりんです。紐付き天然石のりんバイはおりん内部に置いて場所をとりません。硬い天然石で打つと、高く澄んだひとときの音色を響かせます。





## みつぐそく 三具足 すずか

寸法→ 花立：Ø80 × H70 mm  
灯立：Ø80 × H24 mm  
香炉：Ø80 × H24 mm / 500g  
素材→ 本錫

## 白い光沢を持つ すす 錫の三具足

ずしりと重みのある金属でありながら、優しく白く光る錫の仏具のセット（三具足）です。古くから清浄さを表すとされる錫は、祈りの場でも重宝されてきました。大阪浪華錫器とのコラボレーションです。



## みつぐそく 三具足 いぶき 伊吹

寸法→ 花立：Ø73 × H70 mm  
灯立：Ø73 × H18 mm  
香炉：Ø73 × H18 mm / 140g  
素材→ 陶器（信楽焼）、真鍮、ステンレス（金鍍金）



## シンプルな しがらきやき 信楽焼の三具足

信楽焼に真鍮を組み合わせた香炉・灯立・花立のセット（三具足）です。黒と茶の2種をご用意しています。滋賀県の伝統工芸・信楽焼とのコラボです。

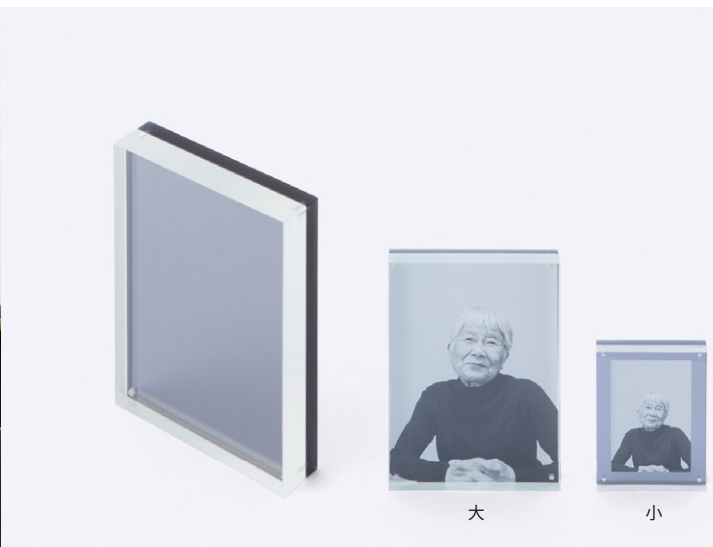


## みつぐそく 三具足 スフィア

寸法→ 花立：Ø50 × H52 mm  
灯立：Ø50 × H57 mm  
香炉：Ø50 × H35 mm / 360g  
素材→ 真鍮（漆焼付け）

## 優しい丸いかたちが並ぶ三具足

ころんとしたかたちが優しい雰囲気を作る三具足です。灯立・香炉は、お好みに合わせて傾けて荘厳する事もできます。



## 写真立て ついそう 追想

寸法→ 大：W89 × H128 × D23 mm / 310g  
小：W60 × H80 × D21 mm / 120g  
素材→ アクリル、ネオジム磁石  
備考→ 大は写真L判サイズです。



## 重厚な奥行きのある小さな写真立て

透明とグレースモークのアクリルブロックで写真を挟み、極小のネオジム磁石4点で留め合わせるフォトフレームです。小口はマット仕上げとし、アクリルの量塊感と奥行きを引き立たせています。



# 彦根仏壇350年のものづくり

彦根市は琵琶湖のほとりにたたずむ井伊家三十五万石の旧城下町です。彦根仏壇は、歴史と伝統が息づく彦根の地で生まれ、350年以上に渡って育まれてきました。現在では、七職と呼ばれる高度に専門化した職人が製作し、それぞれの工程を高い品質で手作業で仕上げています。蒔絵や金箔、鍔金具をふんだんに取り入れた4尺（120cm）の大型仏壇が多く、耐久性にも優れた高級仏壇として全国的に高く評価されています。

ナナプラスが提供する自由壇は、主に彦根の職人が手がけています。金仏壇で培った高い技術とそこから生まれる高精度な品質。つくる形は変わっても、職人のものづくりに向かう姿勢は変わりません。

自由壇は、“彦根の伝統技術”を受け継いだ確かな工芸品です。

木地師 山下 学



江戸時代から続く伝統的な金仏壇の製造で培われた彦根の技術。何世代にも受け継がれる仏壇は精緻な木工技術が生み出す木地が支えています。

自由壇の木工は、部材の切り出しから継手や面取りに至るまで、妥協のない品質で職人がひとつひとつ手作りで制作しています。

漆塗師 寺村 大佑



木を保護するだけではなく、滑らかに奥深い表情を生み出す漆工は、彦根の職人たちが取り組み、切磋琢磨する土壌が育んだ伝統技術のひとつです。

自由壇は、漆をはじめ漆以外の塗装の特性も活用していますが、妥協なく丁寧に塗り仕上げた品質は彦根の伝統から生まれています。

金箔押師 宮本 美弘



伝統的な金仏壇の荘厳なおもむきは細かいところまで検討して施す、金粉や金箔などの加飾技術が生み出しています。

自由壇は、現代の生活に見合うかたちを目指しつつも、少しの装飾を加えることで祈りの気持ちに応える品格が備わることを知っています。

蒔絵師 北村 順治



平滑で美しい漆の上に描かれる華やかな蒔絵や螺鈿は、伝統的な彦根仏壇の見せ場のひとつです。

自由壇は、できることもあえてしない選択をすることがありますが、すべきことはしっかりと行います。金仏壇で培われた感性は、過剰な装飾を避けつつも他にはない表現を追求します。



## NANAPLUS FREEDAN CATALOGUE

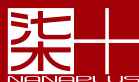
Direction & Design: Yosuke Inui  
Photography: Ayaka Umeda

2022 Printed in Japan

©2022 NANAPLUS LLC. All rights reserved.

photo©Ayaka Umeda





## VIRTUAL FREEDAN | バーチャル自由壇

自由壇を仮想体験できるアプリがQRコードからインストールできます。



染+ (ナナプラス) は伝統的工芸品・彦根仏壇に関わる有志が集い、現代の生活に寄り添う工芸品をつくる活動を行っています。彦根仏壇の工部七職を象徴する七の大字「染」に進歩を表す「+」を加えて名付けました。

### 合同会社 NANAPLUS

〒522-0085 滋賀県彦根市新町39 (有)吉田松蔵商店内  
☎ 0749-23-8322  
📠 0749-23-8321  
✉ info@nanaplus.jp  
🌐 www.nanaplus.jp